

2022年度 第3四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	輸送材料、発光材料、表面保護材料、PCR診断キット用材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業、ISOタンクコンテナ保管事業

第3四半期累計

単位: 百万円
表示: 百万円未満切捨

連 結	2021年度	2022年度	前年同期比
売 上 高	31,107	31,824	+ 716
営 業 利 益	4,982	3,132	▲ 1,850
経 常 利 益	5,307	3,581	▲ 1,726
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,812	1,734	▲ 1,077

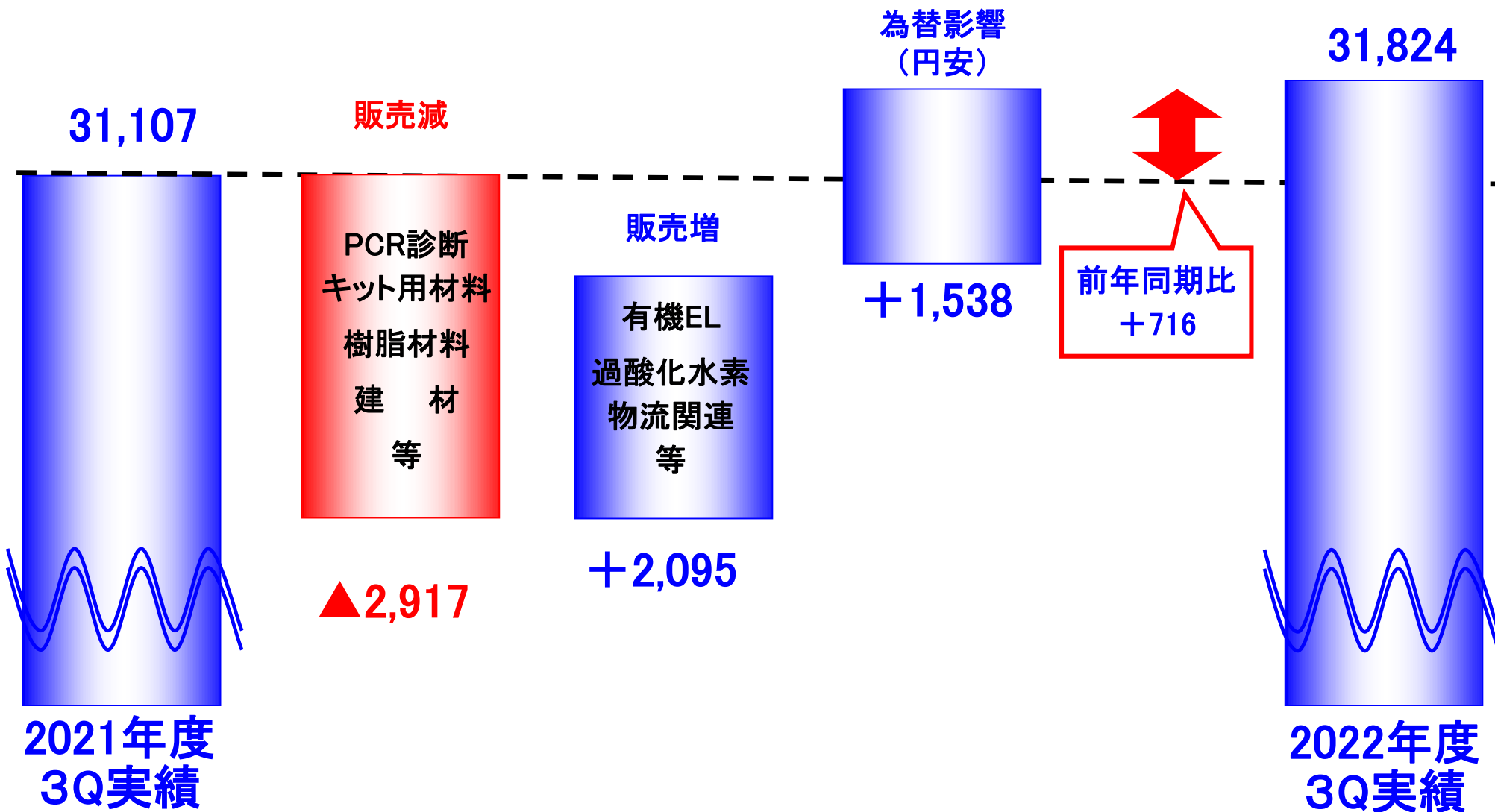
為替レート

\$=111.47円
W=0.0966円

\$=136.85円
W=0.1035円

\$=ドル
W=韓国ウォン

(単位:百万円)



- ・ **売上高**は、機能性樹脂、アグロサイエンスが減少したものの、機能性色素、基礎化学品、物流関連の増加および、円安の効果により、716百万円の**増収**
- ・ **営業利益**は、売上高が増加したものの、売上原価や販売費および一般管理費の増加により、1,850百万円の**減益**
- ・ **経常利益**は、営業利益の減少により、1,726百万円の**減益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、経常利益の減少により、1,077百万円の**減益**

(単位:億円)

科目	2022年 3月末	2022年 12月末	増 減
(流動資産)	340	364	+24
現預金	109	100	▲9
売上債権	124	113	▲11
棚卸資産	93	138	+45
その他	13	12	▲1
(固定資産)	324	345	+21
有形・無形 固定資産	226	240	+14
投資有価証券	79	77	▲2
その他	17	27	+9
合計	664	709	+45

科目	2022年 3月末	2022年 12月末	増 減
(負債)	185	216	+30
仕入債務	47	58	+11
有利子負債	63	86	+22
その他	74	71	▲2
(純資産)	479	493	+14
資本金	111	111	-
資本剰余金	87	79	▲7
利益剰余金	168	181	+12
その他	111	120	+9
合計	664	709	+45

第3四半期累計

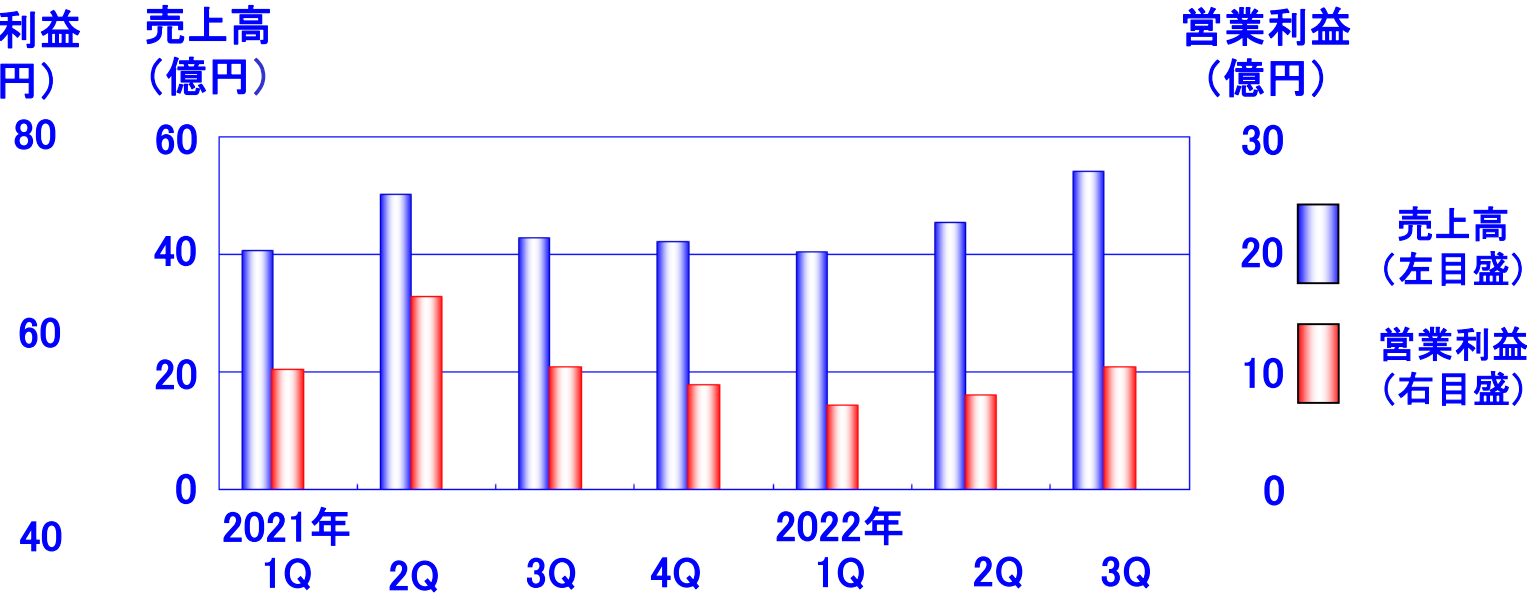
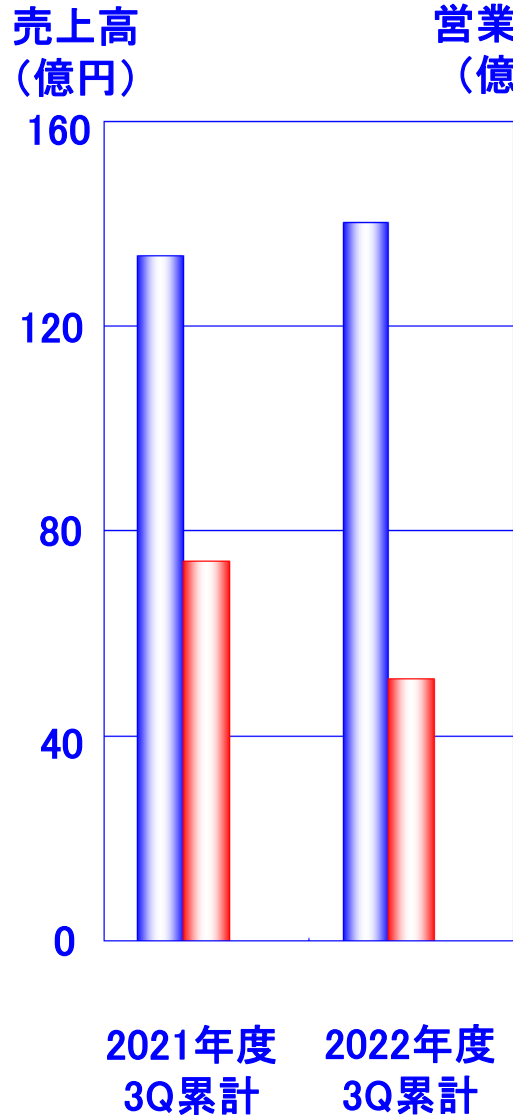
単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

セグメント	2021年度	2022年度	前年同期比
機能性色素	13,361	14,016	+ 654
機能性樹脂	8,364	8,266	▲ 97
基礎化学品	5,151	5,359	+ 207
アグロサイエンス	2,785	2,662	▲ 122
物流関連	1,321	1,452	+ 131
その他	124	67	▲ 57
合計	31,107	31,824	+ 716

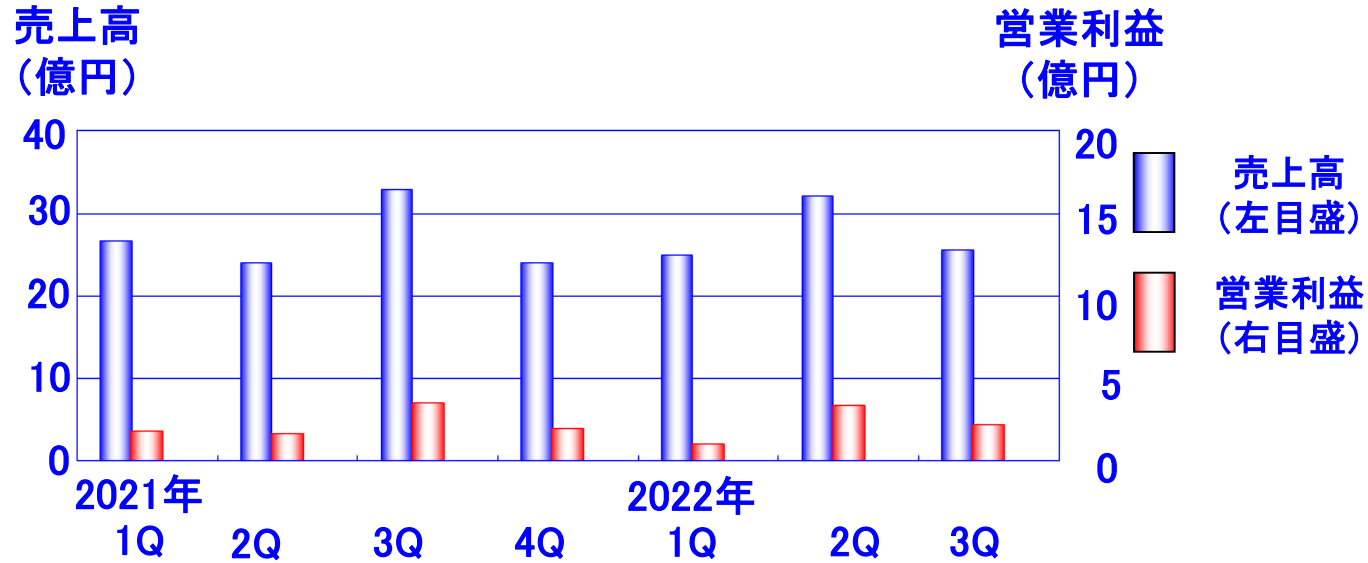
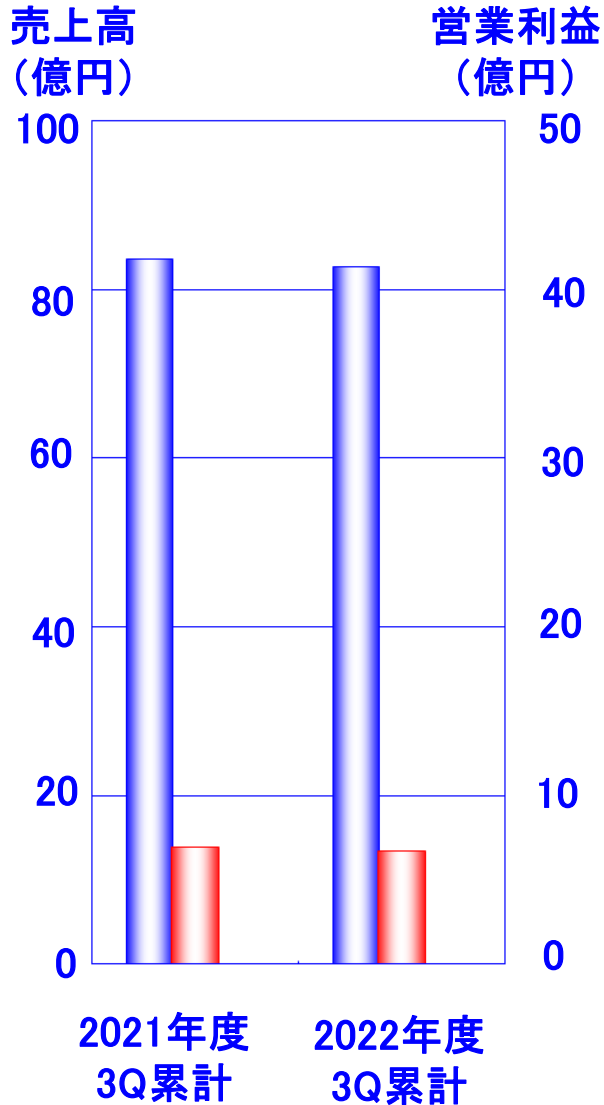
第3四半期累計

 単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

セグメント	2021年度	2022年度	前年同期比
機能性色素	3,706	2,562	▲ 1,144
機能性樹脂	694	667	▲ 26
基礎化学品	326	▲ 474	▲ 801
アグロサイエンス	15	111	+ 95
物流関連	221	255	+ 33
その他	18	10	▲ 7
合計	4,982	3,132	▲ 1,850

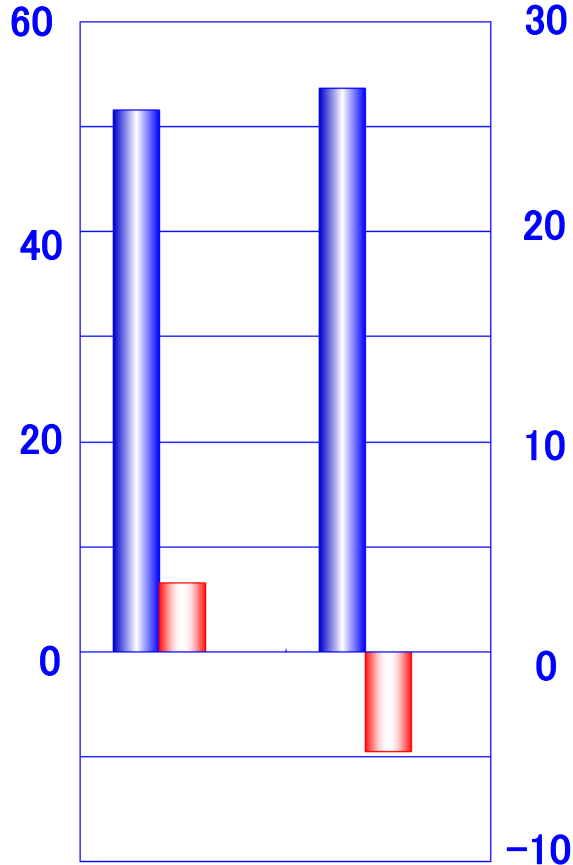


有機EL材料	<ul style="list-style-type: none"> 当社の子会社におけるPCR診断キット用材料の、前年度での新型コロナウイルス向け需要が大幅に減少したが、スマートフォン向けディスプレイ分野においては、有機ELパネルの需要が引き続き増加し、有機EL材料事業全体としては前年同期並み 	➡
色素材料	<ul style="list-style-type: none"> 繊維向け染料の需要が減少したが、文具染料でのコロナ禍からの需要回復や、アルミ着色用染料のスマートフォン向け販売が引き続き好調に推移したことにより増加し、前年同期並み 	➡
イメージング材料	<ul style="list-style-type: none"> プリンター向け材料の需要が海外向けを中心に好調に推移し、大幅な増収 	➡



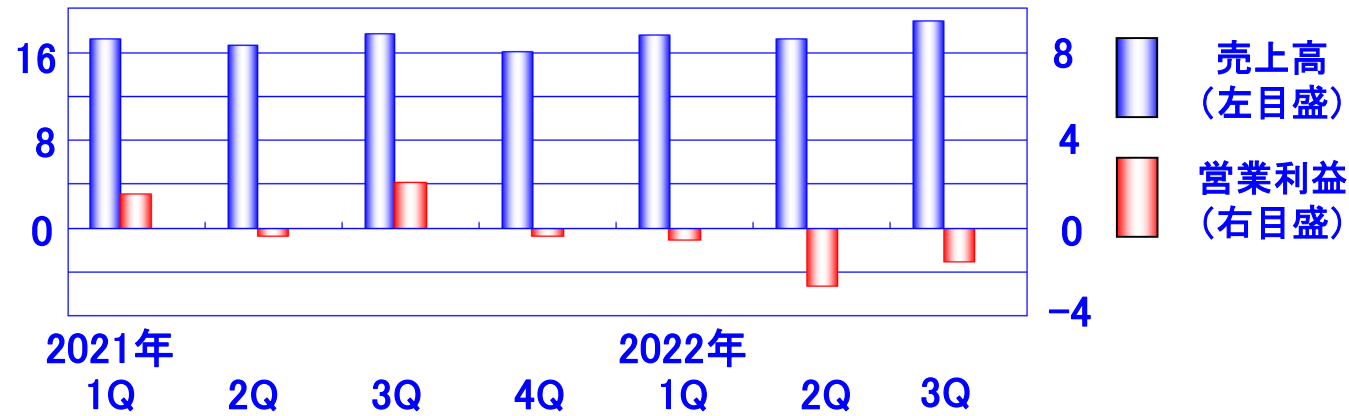
樹脂材料	<ul style="list-style-type: none"> 半導体不足の長期化等に伴う自動車の減産を受けタイヤ用接着剤の需要が減少し、また、海外向けを主とするウレタン材料の販売減少により、樹脂材料事業全体として減収 	↓
特殊化学品	<ul style="list-style-type: none"> 医薬向け及び剥離剤向け等が好調に推移したことから、大幅な増収 	↑
建築材料	<ul style="list-style-type: none"> 建築材料事業は、材料販売は前年同期並みに推移したが、大型防水工事の受注減により、減収 	↓

売上高 (億円) 営業利益 (億円)



2021年度 2022年度
3Q累計 3Q累計

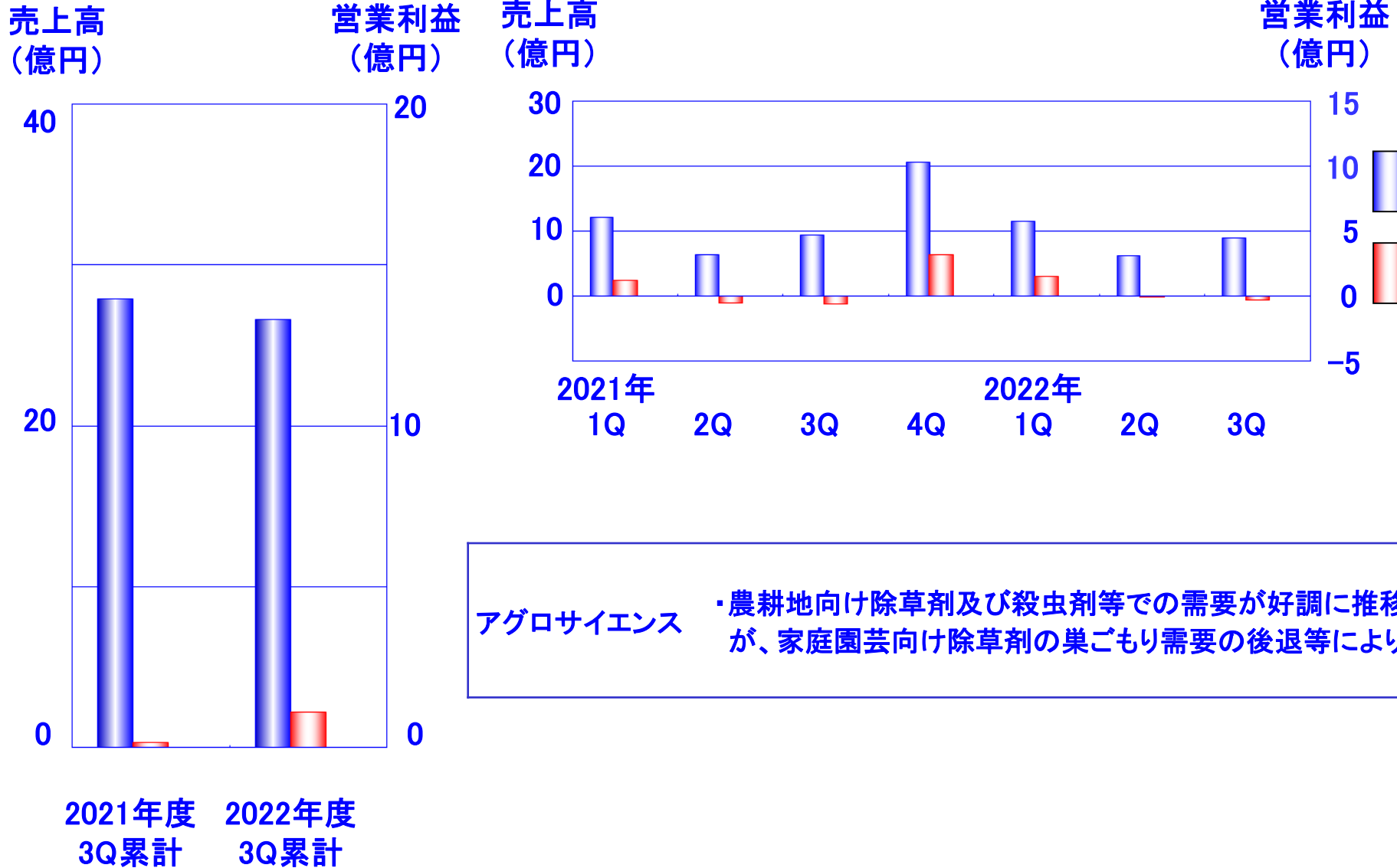
売上高 (億円) 営業利益 (億円)



過酸化水素 工業薬品向けで半導体市場を中心に需要が好調に推移し、
及び また経済活動の回復に伴う紙パルプ向け需要が堅調に推移
誘導品（※） したことから、増収



※過炭酸ナトリウム、過酢酸等



アグロサイエンス

- ・農耕地向け除草剤及び殺虫剤等での需要が好調に推移したが、家庭園芸向け除草剤の巣ごもり需要の後退等により減収

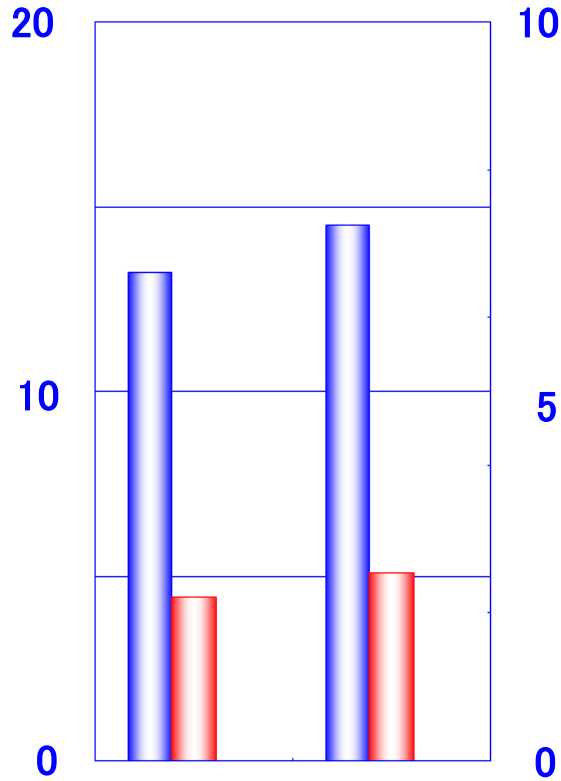


売上高
（億円）

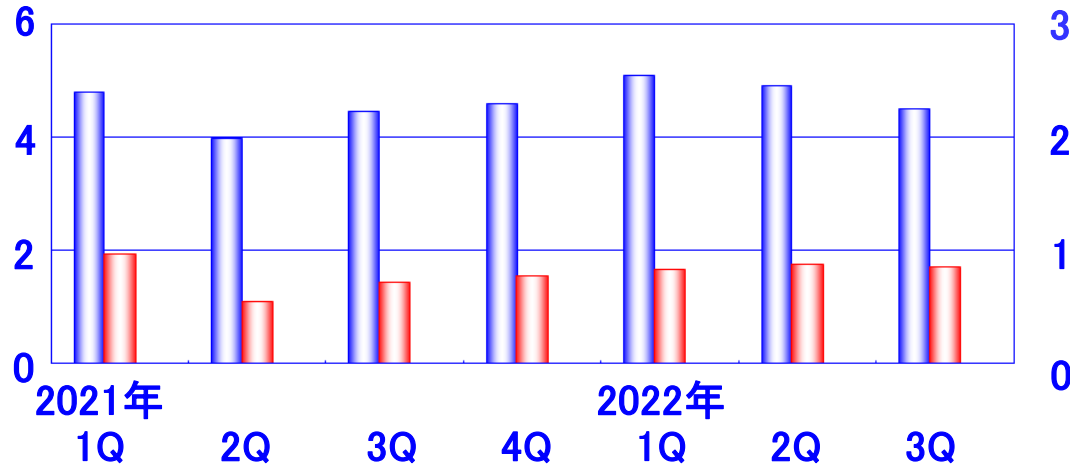
営業利益
（億円）

売上高
（億円）

営業利益
（億円）



2021年度 3Q累計 2022年度 3Q累計



売上高 (左目盛)
営業利益 (右目盛)

物流関連 ・国内外での経済活動の回復に伴い輸出取扱量が堅調に推移したこと等により、増収

・連結業績予想(5月16日時点)と進捗率 (単位:百万円)

科目	2022年度 業績予想	2022年度 第3四半期累計	進捗率
売上高	44,000	31,824	72.3%
営業利益	4,300	3,132	72.8%
経常利益	4,300	3,581	83.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,400	1,734	72.3%

※5月16日に公表した、2022年度業績予想に変更はありませんが、エネルギー価格の高騰やロシアによるウクライナ侵攻の長期化、及び急激な為替の変動、また、世界的なインフレ懸念が広がる中、消費の抑制に伴う需要減少の動きもあり、当社グループを取り巻く環境の不透明感は一層強まっています。